



東京都認定 特定非営利活動法人

C.P.I.教育文化交流推進委員会

1810005 東京都三鷹市中原 2-16-9

TEL& FAX:0422-49-3808

E-mail:cpimate@gmail.com

URL <http://www.cpi-mate.gr.jp>

The Committee for Promotion to Innovate Japanese1 People by Educational and Cultural Contact, since 1979

総 会 報 告

2019 年 6 月 15 日

於：国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都認定特定非営利活動法人
C. P. I. 教育文化交流推進委員会

2019 年度総会議事録

日 時 2019 年6月 15 日(土曜日)14:15～17:00

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 105 室

1. 開会 事務局長・山川洋一氏が総会の開会を告げた。
2. 総会成立の報告：正会員 413 名、出席者 217 名（会場来場者 13 名および書面表決 204 名）。
定足数は 103 名（定款 35 条）を超えているので総会は成立した。
3. 定款 34 条により議長に会長・小西菊文氏が就き、副議長に副会長・横濱英紀氏が選任された。
議長は副議長に議事進行を委嘱した。
4. 議事録署名人に牟田慎一郎氏、加藤凱信氏が選出され書記を山川洋一氏が務めることとなった。
5. 会長挨拶
会長から、正会員の 53%を超える表決票が寄せられたこと及び議場で出席者が議論を下
下さることに謝辞が述べられた。次いで、総会に先立ち行われた評議員会において提出
された建議を理事会で検討することになった旨の発表が行われた。
6. 副議長は、理事会から総会に提出された議案の審議および採決に入る旨を宣言し、次いで表決票
に於ける議長委任を感謝し尊重しつつ、これを承認票と看做す旨を宣言した。

第一号議案 2018 年度事業報告:資料「2018 年度事業報告書」

副議長は、第一号議案および第二号議案を関連あるとして、続けて審議するよう求めた。

会長は、1989 年に、日本に「顔の見える支援活動の風を」と宣言して以来の、これまでもを振り返りつ
つ、寄付者にとって透明な NGO 活動を確認する先頭を切って頑張ってきた経緯を振り返り、その道
を支えてきて下さった会員の皆さんに感謝しつつ、これからも、その道を大きくしていく未来の担い手
への期待を述べ、続いて、定款第 7 条に基き、以下につき、事業報告を行った。

1. 「家庭経済や社会状況において困窮しながら優秀な学業成績をあげている子ども」への公平な
基準に基づいて選考した中等課程以上の在学学生（「教育里子」）への教育支援事業に関するこ
と。（定款第7条第1項1号）
2. 本会の活動および共有すべき情報に関わる報告、必要な出版物、視聴覚教材の、制作および
普及事業につき次の 4 項目に係わること。（定款第7条第1項4号）
 - ① スリランカの現地報告ステューティ誌を 12 月に発行した。
 - ② インドネシアの現地報告クルアルガ誌を 12 月に発行した。
 - ③ スリランカ教育里子への支援を行う正会員に、普通課程修了試験および高等課程修了試
験の結果報告ならびに年末の状況報告を行った。
 - ④ インドネシア教育里子への支援を行う正会員に、年末の状況報告を行った。

3. C.P.I.の活動へ、多くの市民の参画を広げる活動に係ること（定款第7条1項3号）

- ① 会長は、C.P.I.は、2008年に、多くの市民が集まる代々木公園の「国別フェスティバル」に「市民間の友好およびチャリティ活動発祥の場」を求め、『日本インドネシア市民友好フェスティバル』の開催を始めたことを述べた。

2016年以降は、元・インドネシア副大統領トゥリ・ストリスノ氏による毎年の応援もあり、2017年からは、ようやく『チャリティ活動を伝える場』としての価値が出てきたとのこと。

目標に近づくには期間を要したが、その価値を発揮できるようになった。

- ② 在日の元・教育里子とC.P.I.会員との交流を報じる「東京テレビによる放映」を通じて、教育里親制度の説明をすることができ、新しい会員の入会するきっかけができた。

- ③ 長年執行部を支えて下さる役員の方々の没故慰霊をスリランカで行う道筋がついた。

4. 困窮からの自立に取りくむ人々の職業または保健の教育開発等に対する協力事業に係ること。

（定款第7条第1項2号）

- ① C.P.I.は、コミュニティカレッジの設立に努力する人々を支援してきた。地方向上の切り札は、地域産業振興に係る教育にあり、そのことに邁進する人々との活動を継続してきた。

- ② インドネシアの地震・津波による被災地の人々の命を守るための、車載浄水装置プロジェクトの開始および、同国政府社会活動省との協働によって＜保守・保管・操作担当者給与等経費＞が保証されたことに係わる報告が発表が行われた。

現地で飲料水を配給された人々の「奇跡の水だあ」との言葉に呼応して、今後『コラボ・奇跡の水』のキャンペーンを行いたいと呼びかけが行われた。

第二号議案 2018年度決算報告及び監査報告：資料「2018年度決算報告書・監査報告書」

会計副委員長・加藤凱信氏が平成28年度の決算報告を詳細に行い、続いて監事・塙善光氏が監査報告を行った。

以上で説明を終え、第二号議案で若干の質疑応答の後、第一号議案・第二号議案の採決が行われた。

【採決】第一号議案：出席者 217 名に対し、承認 217 票。以上、過半数承認により承認された。

第二号議案：出席者 217 名に対し、承認 217 票。以上、過半数承認により承認された。

第三号議案 2019年度事業計画案審議：資料「2019年度事業計画案」のうち、事業計画案

副議長は、第三号議案および第四号議案を関連あるとして、続けて審議するよう求めた。

会長は、理事会を代表して、2019年度事業計画案を、定款第7条に沿って提案した。

1. 「家庭経済や社会状況において困窮しながら優秀な学業成績をあげている子ども」への公平な基準に基づいて選考した中等課程以上の在学学生（「教育里子」）への教育支援に係る 詳細な計画、および教育里親の増加に努力策に係ること。（定款第7条第1項1号）

2. 活動および共有すべき情報に関わる報告・普及に係ること。(定款第7条第1項4号)

① スリランカおよびインドネシアの現地会報を発行する。

② 教育里子の年末における就学状況等を行う。

3. C.P.I.の活動へ多くの市民の参画を広げること。(定款第7条第1項3号)

① インドネシアでのチャリティ活動に賛同してくださる、国内の市民間連携を、進める。

その目標で、日本インドネシア市民友好フェスティバルを実行委員会主催で開催する。

(a) 会場 代々木公園メイン会場 (10月19日～20日)

(b) C.P.I.は、交流活動担当の立場となり、ステージ出演者の確保に努め、チャリティ活動を発信する当フェスの意義を高めることに邁進する。

(c) 収支責任は、実行委員会におけるフェス会場の運営担当に移管する。

② スリランカの子ども支援に係わる教育里親を増やすプロモーション活動を行う。

③ スリランカの教育里子との交流ツアーを呼びかける。

4. 貧困な人々の自立を助ける活動に係ること(定款第7条第1項2号)

① 小学校への浄水施設の設置継続および車載浄水装置の設置継続の推進を呼びかける。

② C.P.I.がインドネシア内でこれまで進めてきたコミュニティカレッジ運動の前進を呼びかける。

第四号議案 2019年度事業予算案審議：資料「2019年度事業計画案」のうち、事業予算案

会長は、理事会を代表して、2019年度予算を提案し、会場から留意事項の提起が行われた。

(留意事項) 執行、とくに特別会計にあたっては、収支バランスを重視して運営を行うよう、留意を戴きたい。

第三号議案および第四号議案(留意事項付与)に対する採決が行われた。

【採決】第三号議案：出席者 217 名に対し、承認 217 票。以上、過半数承認により承認された。

第四号議案：出席者 217 名に対し、承認 217 票。以上、過半数承認により承認された。

第五号議案 2019年度～2020年度役員候補に係わる採決が行われた：

資料「2019年度事業計画案」のうち、2019年度～2020年度役員候補

会長は、本会の運営に係る役員の適性について、運営の公平維持ならびに協力者の人々に対する感謝の気持ちが特に求められることを述べ、理事会から推薦された9名の理事候補者および2名の監事候補者の紹介を行った。

また、本日の事務局長役を務められた山川洋一理事が、新潟県で第三の人生の出発にあたられることとなり、当法人の役職を辞することになった旨が発表された。

一同、山川氏の長年の執行部でのご活躍に、拍手をもって感謝を行った。

その後、役員改選候補に係る賛否採決が行われた。

【採決】第五議案：出席者 217 票に対し、承認 217 票。以上、過半数承認により承認された。

役員に選任された方々は、次のとおりであり、全員が就任を承諾されたことを、ここに報告する。

(2019 年度～2020 年度本法人改選役員名簿(住所は個人情報上、市区町村までの記載とする))

役 名	氏 名	住所又は居所
理 事 重任	小西 菊文	東京都三鷹市
理 事 重任	横濱 英紀	神奈川県横浜市
理 事 重任	牟田 慎一郎	福岡県小郡市
理 事 重任	宮原 克平	埼玉県志木市
理 事 重任	加藤 凱信	東京都東久留米市
理 事 重任	高嶋 恵子	千葉県木更津市
理 事 重任	植田 恭一	千葉県夷隅市
理 事 重任	佐野 友	埼玉県さいたま市
理 事 就任	柴田 朝香	東京都小平市
監 事 重任	塙 善光	千葉県千葉市
監 事 重任	久保田秀雄	神奈川県横浜市

最後に、議長は総会の出席者に謝辞を述べ、閉会を宣言し、散会した。

以上の記載に間違いがないことを確認し、議長および署名人は、これを証する。(署名原本は本部保管)

2019 年 6月16日

議 長 小 西 菊 文

印

議事録署名人 牟 田 慎一郎

印

議事録署名人 加 藤 凱 信

印